

1	運営管理	教育・保育目標に基づき年間指導計画を立て発達段階に合わせた教育・保育を実践しました。定期的な職員会議や園内研修を行い、職員の資質向上に努めました。
2	守秘義務	教育・保育業務の中で知り得た秘密情報は、秘密の保持につき全職員に守秘義務の徹底を図りました。
3	安全 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の安全点検は毎日行い事故防止に努めました。教育・保育中にケガや事故があった時に、保護者にその経緯と対応を説明するとともに、職員会議で見直し再発防止を行いました。 ・給食における安全衛生対策では食物アレルギーのある子の現状を把握し、保護者と職員間の情報を共有して提供までのマニュアルを再確認しました。 ・月一回防災訓練、地震訓練、風水害訓練を行いました。今年度は飯塚警察署の指導の下、不審者訓練、交通安全教室を実施し子どもの安全を守るための危機管理意識を高めました。 ・感染症ガイドラインに基づき、施設や玩具・手指の消毒の徹底、室内の換気等を実践し安全対策を行いました。
4	保育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人が、自己選択からの自己満足へ繋がる遊びの空間を整備しました。 ・季節、気温に合わせ室内温度や換気に配慮し、冷暖房等も活用しながら活動しやすい環境づくりを行いました。
5	健康 衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回園医による内科検診・歯科検診・尿検査を実施し、子どもたちの健康状態を把握しました。感染症の予防対策として、発生状況を確認し保護者へ周知しました。 ・PM2.5や暑さ指数等の数値の確認を行いながら、戸外活動の実施決定を行いました。
6	保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を通して行う教育・保育の重要性を意識しながら保育を実践しています。子どもの気持ちに寄り添い一人一人を大切に保育を行いました。 ・「人権を大切に育てる保育」を基本方針に、子どもたち一人一人が見通しを立てて生活や活動ができるような保育の進め方を実践しました。
7	食育	菜園活動を通して野菜の生長を子どもたちと一緒に観察し、育てた野菜を収穫して食べることで食への興味・関心を持たせることができました。給食食材についても産地や仕入れを吟味し、子どもたちの健康を第一に考えた食の提供も行いました。
8	子育て支援	毎日の送迎等で保護者との情報交換を行い、子育てに関する不安や悩みの解消を図るよう助言や対応を行いました。未就園児対象に公開保育を行い、入園前の家庭とのつながりも大切にしました。一時預かり事業においても同様に子育て支援を行いました。
9	地域交流	生活体験学校と連携し、園庭での焼き芋会、庄内生活体験学校へ出向き、サトイモ収穫、ピザ焼き(生地のみ)・トッピングなどを体験しました。庄内地区の文化祭に年長児の作品を出展しました。
10	苦情報告	保護者からの意見や要望は真摯に受け止め、保育課とも協議しながら対応を行いました。園内で起こった問題についても、そのつど職員会議を行い全職員へ周知し、解決のための取り組みを行いました。

外部評価

【総評】

・運営面では、安全管理、食育、地域交流への取り組みが評価できる。

【子どもの発達援助】

・保育支援事業では、感覚統合リトミックの継続的な実践により、5歳児等の体感保持や感情制御など、心身両面での顕著な成長が確認された。個々の特性に寄り添い、具体的な解決策を提示する支援は有効に機能している。今後も多様化する保育者ニーズへの対応や個別の配慮が必要な子どもへの専門的な支援、特性の維持、強化が園の質の向上において重要である。

・保育環境においては子どもの成長や発達に合わせた玩具や遊びの空間を一年通して整備していることは評価できる。

【子育て支援】

・保護者への子育てに関する相談や対応、公開保育や一時預かり事業においての子育てしえんは大いに評価できる。いつでも子育て相談ができる場所として今後も実践してほしい。

【安全・事故防止】

・安全危機管理においてケガや事故等の保護者対応を丁寧に行い、職員会議で情報共有し再発防止を行っている点は評価できる。

・特に事故や苦情への対応、を職員会議で共有し、再発防止に努める姿勢は達明性が高い。

※感覚統合リトミック

子ども達が自分の体を知り、思い通りに動かすことができるようになることで、普段の生活や遊びにおいて十分に自分の能力を発揮することができることを目的に取り組んでいる運動遊び。

第三者委員(松岡えりこ・田辺妙子)